

「チーム宮園小」で挑む！

みなさん、こんにちは。

11月です。朝の冷え込みが強くなり、秋が深まってきました。ただ、今日は立冬、暦の上ではもう冬ということになります。

今年の冬は、新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザの流行も懸念されるとの報道もあります。基本的な対策はいずれも同じです。引き続き、感染予防に御協力ください。

さて、今日は宮園小の教職員の良さを一つ紹介します。

これまでも度々ご紹介してきましたが、宮園小では、子どもたちが学習計画表に基づいて自分のペースで教科の内容を学び進める「自由進度学習」に取り組んでいます。今月は3年生と4年生が自由進度学習に取り組みます。

自由進度学習を行う際、教員は、子どもたちが意欲的に自分で学びを進められるよう、教材やワークシート、学習環境を事前に整えます。子どもたちが自立的に学びを進められるかどうかは、この事前の準備が肝といっても過言ではありません。言い換えますと、教師としては、単元（授業）がスタートする前までがなかなか大変ということになります。



本校では、自由進度学習の単元づくり（教材研究に始まって、教材・教具、学習計画表、学習環境づくりまで）には、実際に授業をする担任だけでなく、他学年の担任や専科の教員が総出で当たります。授業者に対するちょっとしたお手伝いといったものでなく、授業をどう組み立てるかといった対話（意見交換）から、子どもたちが楽しく学ぶことができる学習コーナーを作る作業まで、全ての教員が「自分事」として協働して取り組みます。もちろん、こうした動きは自由進度学習の準備だけではありません。本校の教育活動のいろいろな場面で、「チーム宮園小」として動いています。



手前味噌で恐縮ですが、校長としては、こうした教職員の高い協働性は本校の大きな強みの一つだと思っています。

そして、そうした協働を通して、本校では教職員も「自分を育て みんなで伸び」ています。

